

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は全てに記入いただくこととしています。ただし、業種・業態等により全く該当しない場合は、非該当欄にチェックを入れて、「具体的な取組」欄に非該当の理由を記載してください。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものについて、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

分類	非該当	No.	チェック項目	基本 ランク	具体的な取組 (記載欄)	参考: 具体的な取組の記載例	参考: ステップアップを目指すための ガイドライン、高度な取組例など	参考: チェック項目と主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)の関連性																	
								1 人権 尊重	2 社会 不平等 解消	3 経済 成長	4 気候 変動 緩和	5 資源 循環	6 生物多 様性保 全	7 水資源 管理	8 陸域 環境 保全	9 空気質 量改善	10 地盤 災害 対策	11 資源 効率化	12 廃棄物 減量化	13 生物多 様性保 全	14 気候 変動 緩和	15 資源 循環	16 生物多 様性保 全	17 水資源 管理	
人権・労働	□	1	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●	・社内外を問わずすべての人々に人格や人権を尊重し、差別・嫌がらせ・ハラスメント等の禁止を規定している。	・ハラスメント防止研修を実施している。 ・ハラスメントに関する相談窓口を設置している。				4.3	5.1				8.5										16.1 16.2 16.7
	□	2	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	・衛生委員会を設置し、職場における社員の安全と健康並びに快適な職場環境の確保に取組んでいる。	・社員向けの労働安全衛生講習会を実施している。	・安全衛生優良企業公表制度認定（厚生労働省）を取得している。		3					8.8											
	□	3	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	・性別・入社経緯等にかかわらず資格に応じた役割、能力が発揮が可能な制度としている。	・人事評価制度を導入している。 ・適正な業務分担、責任分担を行っている。					5.5			8.5		10.2									
	□	4	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●	・働き方改革推進に向け、管理職は「育bos宣言」を行い、人材育成」を踏まえた「ワークライフマネジメント」の実践に取組んでいる。	・ノー残業デーを設定している。			3		5.5			8.5		10.3									
	□	5	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	・社員の能力開発を支える人材育成体系を「OJT」「自己研鑽」「集合研修」の3つの柱で構成し、社員一人ひとりの成長を積極的にサポートしている。	・社内研修を実施している。 ・従業員が自主的に学んだセミナー受講料に対して助成している。			4	5.5			8	9											
	□	6	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	・健康経営の取組みが評価され「健康経営優良法人（ホワイト500）」に3年連続で認定	・健康的な食事に関する社内セミナーを実施している。	・ふじのくに健康宣言事業所（静岡県）に認定されている。		3				8											17	
	□	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性・外国人・障がい者・高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	・女性活躍推進・多様性の受け入れ推進・障がい者雇用・活躍推進、「ワーク・ライフ・バランス」推進等の環境整備に取組んでいる。2019年「ダイバーシティ・インクルージョン部門」で受賞	・夫の育児休業取得を推奨している。 ・定年を超えた雇用制度を設けている（再任用制度など）。	・富士市ユニバーサル就労協力企業に登録している。			4.4	5.1 5.5		8.5		10.2 10.3									16.7	
	□	8	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスの感染拡大など、変化する社会の情勢や要請に対応して、労働環境などを見直し改善している。	●	・新型コロナウイルス感染対策としてテレワーク、ウェブ会議を導入している。	・時差出勤やテレワークができる制度・環境を整備している。 ・ウェブ会議を活用している。			3				8	9.1		11	12								
	□	9	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	・外部環境の著しい変化に対応するため、2016年から、DX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組み、業務プロセスのデジタル化やRPA（ソフトウェアのロボットによる業務自動化）の活用による業務改革に取組んでいる。	・顧客ファイルをデータ化し、フリーオフィス化やテレワークを推進している。	・農作物のハウス内にIoTデバイスを接続し、土壌の水分量や照度を調整して最適化している。					8	9.1		11	12									
環境	□	10	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理及び処理に取り組んでいる。	●	・使用済み自動車の適な処分とリサイクル部品の製品化を実現するための「全損車両ネットオーナーシステム」の運営など、地域環境に優しく持続可能な社会づくり貢献する取り組みを推進している。	・管理者を定め、年間取扱量、排出量及び移動量を管理している。	・エコアクション21を取得している。			3.9		6.3						11.6	12.4		14.1	15.1			
	□	11	【エネルギー】 ・電力や燃料など、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・年間を通じた環境ビズ（クールビズ・フォームビズ）の実施による電力の使用量削減及びCO2削減に取り組んでいる。 ・全社有車に車載器を設置、データ分析によるECOドライブ推進	・計量器やモニターを設置して使用量を把握している。 ・省エネ診断を行い、改善に取り組んでいる。 ・照明のLED化をしている。							7.3							13					
	□	12	【温暖化対策】 ・温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。	●	・政府・環境省が推進する地球温暖化防止キャンペーンに賛同し、エネルギー使用量削減に取り組んでいる。	・クールビズを取り入れている。 ・クールチョイス又はクールチョイス22（ふじ）を行っている。 ・共同運送を活用している。	・環境省の中小企業温暖化対策推進ガイドラインを参考とした取組を検討している。 ・社用車に環境配慮型車両（電気自動車、ハイブリッド車等）を導入している。		2.4			7.2 7.3 7.a						12.4	13	14	15				
	□	13	【生物多様性】 ・自社の活動が環境（生物多様性や地域特有の生態系等）に与える悪影響を最小化する取組を行っている。	●	・環境基本方針の主要課題に「生物多様性の保全」を掲げ、金融インシアチブが主導する「自然資本宣言」に署名しています。生物多様性に配慮した事業活動に取り組んでいます。	・敷地内の緑地では、地域の植生を取り入れている。 ・花や実のなる地域の木を植えている。					6.6										14	15			
	□	14	【効率的な資源利用】 ・資源の価値をできる限り損なわないように、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、共有（シェア）、長寿命化などに取り組んでいる。	●	・紙使用量削減（ペーパーレス取組）や森林認証紙の利用を推進し、自然資本・生物多様性に配慮した取り組みを進めている。	・再生紙を利用している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。							9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	□	15	【水资源の保全・管理】 ・富士市などの地域の水资源の質と量の保全、水资源の利用効率の改善、水质汚染防止の対策に取り組んでいる。	●	・水辺の清掃活動や社員食堂での紙ストロー利用、ごみ分別によるプラスチック削減を進めています。マイバッグやマイボトルの利用推進により、プラスチック問題に対応している。	・節水型トイレを設置している。 ・オフィスの水道に節水型水栓を設置している。 ・排水処理設備の維持・補修、予防保全を講じている。	・水道使用量を把握・記録した上で、削減目標を設定している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6				11.5		14.1 14.2 14.3	15				17		
	□	16	【再生可能エネルギー】 ・再生可能エネルギーなど、クリーンで持続可能性の高いエネルギーの使用や普及に取り組んでいる。	●		・建設作業所にて交通表示板等に太陽光発電機材を使用している。 ・再生可能エネルギー比率の高い電力契約へ見直した。	・太陽光パネル、風力発電を設置して、クリーンな電力の利用に努めている。																		
	□	17	【地域の景観等の継続的な保全管理】 ・地域の自然環境（山・森林・河川・海）やまちなかにおける景観や環境を保全管理する取組に継続的に参画している。	●	・自然環境保全に従事している、NPO法人里山公文名ファイブに毎年寄付を行い間接的に保全管理に取組んでいる。	・河川のごみ拾いを行っている。 ・海岸清掃を行っている。 ・植林活動を実施している。											11.6 11.7	13.1 13.3		15			17		
	□	18	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気・水素自動車、自転車などの環境にやさしい交通手段の使用を促している。	●	・正社員は会社事務所まで、徒歩・自転車・公共交通機関の利用を推奨している。	・自転車での通勤を推奨している。	・社用車として環境配慮型車両（電気自動車、ハイブリッド車等）を導入している。					9.4		11.2		13.1 13.3									
製品・サービス	□	19	【地域の環境問題に対する意識の醸成】 ・地域の環境や環境問題に关心を持ち、自ら考え行動する姿勢を持つことを目指して、市民や従業員に対し、地域の環境問題などに関する学びの場の提供や参加を促している。	●	・「SDGsセミナー」や「カーボンニュートラルセミナー」を開催し、市民や従業員に対し、教育の機会を創出している。	・環境アドバイザー派遣を利用するなど、従業員の環境教育の機会を創出している。																			
	□	20	【製品・サービスの安全性と品質】 ・認証の取得や認証取得の製品の活用など、製品・サービスの安全性や品質の確保に取り組んでいる。	●	・お客様に安心と満足をお届けするために必要な行動基準として「A-D品質基準」（=お客様に寄添い、お役立ちする基準）を定めている。	・ISO90001を取得している。				3.9				9			12.4								
	□	21	【環境に配慮した製品・サービス】 ・環境に配慮した製品・サービスの開発・設計に取り組んでいる。	●	■CSV×DX（DXを活用し、地域・社会との共通価値の創造）をコンセプトにした商品開発を行っている ・テレマティクス技術を活用した自動車保険を開発することにより、事故発生件数の減少・CO2排出削減に寄与 ・企業向けの火災保険「企業財産包括保険」において、被災建物等の復旧時に新たにCO2排出量削減につながる設備等を採用する際の追加費用を補償する「カーボンニュートラルサポート特約（脱炭素化対策費用補償特約）」を2021年8月から販売し、災害発生後の復興段階において、元の状態に戻すだけでなく、より強靭な対策を講じてまちづくりを実現するという「BuildBack Better（創造的復興）」の考え方にもとづき、脱炭素社会の実現へ貢献。	・製造過程の食品ロスを削減する生産計画を策定している。 ・再生可能な資源を活用して製品開発している。 ・森林認証（FSC認証）のある木材を調達している。	・資材発注時に設計図書等を再チェックし、残余資材の発生を防止している。					6								12	13	14	15		
	□	22	【ユニバーサルデザイン】 ・年齢・性別・使用言語などに関わらず、あらゆる人々が使用できる製品・サービスのデザインを行っている。	●	・製品や、サービスおよび施設などにユニバーサルデザインを考慮している。 ・店舗の案内表示をやさしい日本語で表記する。（ピクトサイン、ユニバーサルフォントなど）																				

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は全てに記入いただくこととしています。ただし、業種・業態等により全く該当しない場合は、非該当欄にチェックを入れて、「具体的な取組」欄に非該当の理由を記載してください。
 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものについて、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。

分類	非該当	No.	チェック項目	基本 ランク	具体的な取組 (記載欄)	参考: 具体的な取組の記載例	参考: ステップアップを目指すための ガイドライン、高度な取組例など	参考: チェック項目と主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)の関連性																	
								1 SDGs 目標	2 SDGs 目標	3 SDGs 目標	4 SDGs 目標	5 SDGs 目標	6 SDGs 目標	7 SDGs 目標	8 SDGs 目標	9 SDGs 目標	10 SDGs 目標	11 SDGs 目標	12 SDGs 目標	13 SDGs 目標	14 SDGs 目標	15 SDGs 目標	16 SDGs 目標	17 SDGs 目標	
ス	<input type="checkbox"/>	23	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●	コンセプトとして、「お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し社会・地域課題を解決する保険へ」を掲げ、CSV DXに取り組んでいる。CSV : Creating Shared Value (社会との共通価値の創造) DX:デジタルトランスフォーメーションの略語。データやデジタル技術を活用し、価値提供を変革させること。	・過剰包装やプラスチックを取りやめる。 ・障害者就労支援施設に作業を委託している。	・国際フェアトレード認証ラベルが付いた商品の購入に努めるなど、原材料や製品などを適正な価格で調達する取組を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	<input type="checkbox"/>	24	【地域資源の活用】 ・地域資源を活用した製品・サービスの開発および販売や、地域内外に向けたPR活動や販路拡大に取り組んでいる。	●		・市内事業者を優先して調達を行っている。 ・地域で生産された農産物や副産物などを活用した商品・サービスの開発に取り組んでいる。									8	9	11	12	13						
	<input type="checkbox"/>	25	【パートナーシップによる高付加価値化】 ・産学官金連携の推進などにより、企業の事業、技術、製品・サービスの価値を高める活動を推進している。	●	・産学官金連携の推進などにより、サービス開発を推進。	・ビジネスマッチングによる製品・サービスの開発、販路開拓等を推進している。	・大学などの外部機関と、意見交換やアイディア出し、共同開発などを行っている。																		
地域貢献・社会貢献	<input type="checkbox"/>	26	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・被災地学校へのペルマーク寄贈 ・交通安全グッズ（黄旗・反射板）寄贈 ・障がい者施設への車椅子寄贈	・地域清掃やお祭りなど、地域の活動に参加している。 ・自社主催のお祭りに地域住民を招いている。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	<input type="checkbox"/>	27	【地域の特性に基づいた地域防災力の強化（共助）】 ・地域の特性を踏まえた上で、防災教育や避難訓練への参画、備蓄品の購入や管理、その他災害時の応急対策や復旧の備えなど、地域と連携した取組を推進している。	●	・地震・水災等の対策セミナー、防災教室等を開催している。	・富士市と防災協定を結んでいる。 ・備蓄品の用意を行っている。	・従業員へ防災教育を行っている。 ・避難訓練に毎年参加している。	1.5		3	4								10.2	11.5	13.1			16	17
	<input type="checkbox"/>	28	【地域の学びの場づくり】 ・地域の人びとの学びの場をつくる取組を実施・参画・支援するなど、組織の特性を活かして関わっている。	●	・セミナーやイベントを開催し、地域の学びの場を提供。	・キャリア教育に協力している。 ・社屋の研修施設を地域に貸し出している。																			
	<input type="checkbox"/>	29	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・SDGsの普及啓発に向けて外部機関と提携し、セミナーの開催、個別コンサル等を実施している。	・従業員向けにSDGsに関する勉強会や研修会を実施している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	<input type="checkbox"/>	30	【若者の就業や定着支援】 ・若者の就業や、移住を含む定着を促すため、インターンシップの受け入れやスキルアップを含めた自己実現を支援する取組を推進している。	●		・高校生や大学生のインターンシップを受け入れている。 ・従業員の奨学金返還支援を行っている。							4.4					8.5 8.6	10.2						17
	<input type="checkbox"/>	31	【地域課題の解決】 ・自社の強みや特性を活かして、地域の課題解決や活性化に取り組んでいる。	●	・9つの自治体と包括連携協定を結び、各地域の課題解決に向け取り組んでいる。	・自社の販売網を活かして授産品の販路拡大に協力している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	<input type="checkbox"/>	32	【経営理念の共有】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●	・毎年コミュニケーションレポート（会社案内）を配布し、経営理念・経営ビジョン・行動指針を共有、実践している。	・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を従業員に説明している。												8	9					17	
公正な事業慣行・組織体制	<input type="checkbox"/>	33	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●	・全社員にコンプライアンス研修を定期的に実施し、法令遵守の徹底を図っている。	・コンプライアンスマニュアルを策定し、法令遵守の重要性を従業員に周知している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																		16	
	<input type="checkbox"/>	34	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●	・社内通知、コンプライアンス研修にて社員に周知している。	・公正な取引に関する行動規範を定めている。 ・行動規範に基づくチェック体制がある。													10						16
	<input type="checkbox"/>	35	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●	・組織体制は明確になっており、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する専門部署体制も整備している。	・責任者（担当役員）、CSR管理者を任命している。																		16	
	<input type="checkbox"/>	36	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●	・知的財産の保護に取組んでいる。知的財産を侵害された場合の保険も提供	・特許、商標などの侵害排除に関して、規程を設けている。 ・知的財産に関する勉強会を開催している。												8.2 8.3	9						
	<input type="checkbox"/>	37	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●	・業務に従事している者等への教育・指導を徹底し、個人情報の取り扱いが適正に行われるよう取組んでいる。	・個人情報の取扱いに関する基本方針を定めている。 ・従業員に対して情報セキュリティに関する研修を行い、従業員の情報管理リテラシーを定期的にチェックしている。																		16	
	<input type="checkbox"/>	38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（利害関係者：従業員・消費者・取引先・投資家・社会全体）からの要請や意見を聞く体制を整え、適切に対応するなど、公正で良好な関係の構築に取り組んでいる。	●	・ステークホルダーの声を聞くさまざまな仕組みを備え、経営レベルでの議論のもと、わかりやすい商品説明や先進技術を用いた利便性の高い手続の提供、高齢者・障がい者など、多様なお客さまニーズにお応えする取組みを行っている。	・定期的にお客様アンケートを実施している。 ・お客様相談センターを設置している。 ・クレームを公表している。 ・CSR活動をホームページで掲載している。																	16	17	
	<input type="checkbox"/>	39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している。	●	・BCP策定している。	・社内で起こり得る事故リスクを洗い出し、従業員に周知している。 ・ヒヤリハット事例を社内で共有している。												9	11	13.1		16	17		
	<input type="checkbox"/>	40	【災害や事故への備え（自助）】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	・地震や水害などの自然災害などへの備えについては、自社は勿論のこと、中小企業へのハザードマップ・BCP支援等事業継続力強化計画支援も行っている。	・災害時に従業員の安否確認できる体制を整えている。 ・地震及び津波を想定して、BCPを策定している。											9	11	13.1		16	17			
	<input type="checkbox"/>	41	【気候変動適応策の策定】 ・気候変動による影響に対して、企業の事業や経営の適応策を策定し、取り組んでいる。	●	・年間を通じた環境ビズ（クールビズ・フォームビズ）の実施。	・従業員の熱中症対策に取り組んでいる。 ・温暖化により豪雨や台風による水害が激甚化するおそれがあることを踏まえて、浸水対策を講じている。	・環境省の気候変動適応ガイドラインを参考として、気候変動適応策を社内で検討している。																		
	<input type="checkbox"/>	42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の育成計画を作成し、検討を進めている。												8	9						17